

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所	平成23年2月23日(水) 本社会議室		
委員	波光 巖(大学教授) 矢橋晨吾(大学名誉教授) 西谷隆巨(大学名誉教授) 田中俊充(弁護士) 角田 茂(学校法人参事)		
審議対象期間	平成22年10月1日～平成22年12月31日		
抽出案件	総件数	6	件 (備考)
工事	一般競争	2	件
	公募型指名競争	0	件
	通常指名競争	0	件
	随意契約	0	件
建設コンサルタント	公募型プロポーザル・簡易公募型プロポーザル	0	件
	公募型指名競争入札・簡易公募型競争入札	0	件
	標準プロポーザル	0	件
	一般競争	1	件
	通常指名競争	2	件
	随意契約(競争性のある)	0	件
	随意契約(特命随意契約)	0	件
	補償契約	1	件
委員からの意見・質問、それに対する回答等	意見・質問		回答
	1. 一般競争入札(工事)		
	【右岸施設緊急改築 左岸幹線水路下吉田・比久見工区改築工事】		
	・評価点数が0点となった者は欠格となるような規程はあるのか。	・0点の場合も標準的な施工をすることになっているため、欠格にはなりません。	
	・談合があった場合は違約金を請求するのか。	・工事請負契約書に限らず請負契約書には違約金に関する条項があり、談合が発覚した場合、または公正取引委員会等から課徴金の納付命令を受けた場合、排除命令が出た場合は、請負代金額の10分の1に相当する額を違約金として請求します。	
	2. 一般競争入札(工事)		
【池田ダム放流設備外整備工事】			
・低入札価格調査の結果、機構積算と比べてどの項目が大きく異なっていたのか。	・一番大きく異なったのは一般管理費です。機構積算では約45%ですが、請負者は約29%と算出しました。請負者が算出した最低限の経費を上回っており、問題ないと判断しました。		

水資源機構 入札等監視委員会 審議概要

3. 一般競争入札（建設コンサルタント業務等）	
【環境調査結果整理業務】	
<p>・河川水辺の国勢調査として国交省から公表されている冊子以外も含めて再整理するという業務内容か。</p> <p>・予定価格と落札額に大きな差がある場合は、適切な専門家にアドバイスを受けられたほうが良いのではないか。</p>	<p>・平成 21 年度の調査結果をこれまでの整理状況に従って追加で整理をしていく業務です。</p> <p>・機構が業者に歩掛かり見積もりをとっても、ばらつきがある項目があります。このような項目は、人工、作業能力の想定を仕様書の数量に表現するように技術管理室で指導をしています。</p>
4. 指名競争入札（建設コンサルタント業務等）	
【平成 22 年度環境保全対策資料作成業務】	
【平成 22 年度環境保全対策業務】	
<p>・オオタカについて知見がある者を選定したのか。</p>	<p>・知見がある者の方が事前勉強が必要ないという点では有利かもしれませんが、機構がもつオオタカに関する資料を受注者に提示し、勉強していただいた上で業務を実施してもらいます。</p>
5. 補償契約	
【石綿管対策馬込支線雲谷工区外工事立木伐採補償(豊川用水総合事業部)】	
<p>立木補償内容は、新しい立木を植え替える補償か。</p> <p>立木を移植する補償ならば、伐採しなくて良いのではないか。</p> <p>みかんの補償は樹齢が 15 年ぐらいから補償額が下がるのか。ある樹齢以降は、無価値になるのか。</p>	<p>伐採する補償です。</p> <p>移植の時期を過ぎていることもあり、移植はできません。</p> <p>15 年前後をピークとして補償額は下がります。無価値にはなりません。</p>
<p>委員会による意見の具申又は勧告の内容</p>	<p>・なし</p>

問い合わせ先

埼玉県さいたま市中央区新都心 1 1 番地 2

ランド・アクシス・タワー内

電話 048 - 600 - 6500

水資源機構入札等監視委員会事務局

財務部契約課長 小出 裕之 (内線 2251)

技術管理室技術調査課長 星野 博 (内線 4631)

用地部補償業務課長 田中 昇 (内線 2331)